

# 令和 5 年度 病院事業決算状況

都道府県名 静岡県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ	市町村	病院名	ページ
-	静岡がんセンター	2	御前崎市	市立御前崎総合病院	20
-	想定企業会計（静岡県立病院機構）	3	菊川市	菊川市立総合病院	21
静岡市	静岡市立静岡病院	4	森町	公立森町病院	22
静岡市	静岡市立清水病院	5	共立蒲原総合病院組合（事業会計分）	共立蒲原総合病院	23
浜松市	浜松医療センター	6	榛原総合病院組合（事業会計分）	榛原総合病院	24
浜松市	浜松市リハビリテーション病院	7	一部事務組合下田メディカルセンター（事業会計分）	下田メディカルセンター	25
浜松市	浜松市国民健康保険佐久間病院	8	掛川市・袋井市病院企業団	掛川市・袋井市病院企業団立 中東遠総合医療センター	26
沼津市	沼津市立病院	9			
富士宮市	富士宮市立病院	10			
伊東市	伊東市民病院	11			
島田市	島田市立総合医療センター	12			
富士市	中央病院	13			
磐田市	磐田市立総合病院	14			
焼津市	焼津市立総合病院	15			
藤枝市	藤枝市立総合病院	16			
袋井市	袋井市民病院	17			
袋井市	聖隷袋井市民病院	18			
湖西市	市立湖西病院	19			

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名					
病院名 静岡がんセンター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ト透訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	86,665 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	37	指定病院の状況	が 特		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	615	88.2	88.6	86.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	615	88.2	88.6	86.1
平均在院日数(一般病床のみ)		11.9	11.8	11.5

設立団体の状況		
人口(人)	3,633,202	
決算規模(千円)	1,250,356,192	
標準財政規模(千円)	737,591,268	
財政力指数	0.66624	
経常収支比率(%)	95.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.6
	将来負担比率(%)	235.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	43,135,140			
1 経常収益	43,129,115			
(1) 医業収益	34,563,138			
(うち修正医業収益)	34,421,893			
入院収益	15,276,921			
外来収益	18,483,677			
診療収入計	33,760,598			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	802,540			
(うち他会計負担金)	141,245			
(2) 医業外収益	8,565,977			
(うち国・都道府県補助金)	227,827			
(うち他会計補助・負担金)	6,602,526			
(うち長期前受金戻入)	103,970			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,025			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	43,728,686			
2 経常費用	43,558,944			
(1) 医業費用	39,169,356			
職員給与費	15,133,931	43.8	58.7	51.4
材料費	15,706,041	45.4	26.9	32.6
(うち薬品費)	13,008,831	37.6	14.8	18.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,697,210	7.8	11.7	13.9
減価償却費	1,644,591	4.8	8.5	7.4
経費	6,231,374	18.0	21.5	16.9
(うち委託料)	5,125,441	14.8	11.5	10.0
研究研修費	434,731			
資産減耗費	18,688			
(2) 医業外費用	4,389,588			
(うち支払利息)	410,079	1.2	0.9	0.8
(3) 特別損失	169,742			
経常損益	-429,829			
純損益	-593,546			
累積欠損金	5,341,830			
経常収支比率	99.0		96.5	97.6
医業収支比率	88.2		86.0	91.7
修正医業収支比率	87.9		83.2	89.8
他会計繰入金対経常収益比率	15.6		11.5	7.2
他会計繰入金対医業収益比率	19.5		13.7	8.1
他会計繰入金対総収益比率	15.6		11.5	7.2
実質収益対経常費用比率	83.5		85.4	90.5

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	54,450,972
1 固定資産	41,263,163
(1) 有形固定資産	38,327,154
(2) 無形固定資産	1,013,845
(3) 投資その他の資産	1,922,164
2 流動資産	13,187,809
(1) 現金及び預金	6,628,875
(2) 未収金及び未収収益	5,912,787
(3) 貸倒引当金( )	113,410
(4) 貯蔵品	619,053
3 繰延資産	-
負債合計	47,306,738
1 固定負債	34,935,805
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	30,766,526
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,169,279
(6) リース債務	-
2 流動負債	10,454,107
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,319,898
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,005,914
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	4,949,388
(9) 前受金及び前受収益	56,705
3 繰延収益	1,916,826
(1) 長期前受金	6,250,427
(2) 長期前受金収益化累計額( )	4,333,601
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	7,144,234
1 本金	12,026,365
2 剰余金	-4,882,131
(1) 資本剰余金	459,699
(2) 利益剰余金	-5,341,830
負債・資本合計	54,450,972
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	6,739,062	6,743,771
資本勘定繰入	1,908,248	221,258
計	8,647,310	6,965,029

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	15.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和5年度)</b>		都道府県名	
		静岡県	
市町村・組合名			
病院名 想定企業会計(静岡県立病院機構)			
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	3,633,202
決算規模(千円)	1,250,356,192
標準財政規模(千円)	737,591,268
財政力指数	0.66624
経常収支比率(%)	95.6
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	58.7	51.4
材料費	-	-	26.9	32.6
(うち薬品費)	-	-	14.8	18.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	13.9
減価償却費	-	-	8.5	7.4
経費	-	-	21.5	16.9
(うち委託料)	-	-	11.5	10.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	0.9	0.8
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		96.5	97.6
医業収支比率	-		86.0	91.7
修正医業収支比率	-		83.2	89.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.5	7.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	8.1
他会計繰入金対総収益比率	-		11.5	7.2
実質収益対経常費用比率	-		85.4	90.5

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	15.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和5年度)</b>		都道府県名 静岡県	
市町村・組合名	静岡市		
病院名	静岡市立静岡病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	693,389
決算規模(千円)	352,593,594
標準財政規模(千円)	197,591,090
財政力指数	0.83
経常収支比率(%)	92.8
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	51,000			
1 経常収益	51,000			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	51,000			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	51,000			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	51,000			
2 経常費用	51,000			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	58.7	51.4
材料費	-	-	26.9	32.6
(うち薬品費)	-	-	14.8	18.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	13.9
減価償却費	-	-	8.5	7.4
経費	-	-	21.5	16.9
(うち委託料)	-	-	11.5	10.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	51,000			
(うち支払利息)	51,000	-	0.9	0.8
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		96.5	97.6
医業収支比率	-		86.0	91.7
修正医業収支比率	-		83.2	89.8
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		11.5	7.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	8.1
他会計繰入金対総収益比率	100.0		11.5	7.2
実質収益対経常費用比率	-		85.4	90.5

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	51,000	51,000
資本勘定繰入	290,000	290,000
計	341,000	341,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	0.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名		静岡市			
病院名		静岡市立清水病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	35,997 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	26	指定病院の状況	救臨 災地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	463	69.6	71.4	66.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	463	69.6	71.4	66.4
平均在院日数(一般病床のみ)		14.9	15.6	14.0

設立団体の状況		
人口(人)	693,389	
決算規模(千円)	352,593,594	
標準財政規模(千円)	197,591,090	
財政力指数	0.83	
経常収支比率(%)	92.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.1
	将来負担比率(%)	31.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,847,680			
1 経常収益	12,847,680			
(1) 医業収益	10,006,299			
(うち修正医業収益)	9,346,168			
入院収益	6,778,099			
外来収益	2,356,879			
診療収入計	9,134,978			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	871,321			
(うち他会計負担金)	660,131			
(2) 医業外収益	2,841,381			
(うち国・都道府県補助金)	237,871			
(うち他会計補助・負担金)	2,480,900			
(うち長期前受金戻入)	31,063			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,813,168			
2 経常費用	12,813,168			
(1) 医業費用	12,139,970			
職員給与費	6,543,529	65.4	58.7	55.7
材料費	2,136,503	21.4	26.9	28.9
(うち薬品費)	1,217,170	12.2	14.8	15.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	919,333	9.2	11.7	12.7
減価償却費	854,510	8.5	8.5	7.9
経費	2,558,139	25.6	21.5	18.1
(うち委託料)	1,329,736	13.3	11.5	10.0
研究研修費	42,778			
資産減耗費	4,511			
(2) 医業外費用	673,198			
(うち支払利息)	27,666	0.3	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	34,512			
純損益	34,512			
累積欠損金	44,616			
経常収支比率	100.3		96.5	97.5
医業収支比率	82.4		86.0	90.0
修正医業収支比率	77.0		83.2	87.2
他会計繰入金対経常収益比率	24.4		11.5	9.6
他会計繰入金対医業収益比率	31.4		13.7	11.0
他会計繰入金対総収益比率	24.4		11.5	9.7
実質収益対経常費用比率	75.8		85.4	88.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	13,527,289
1 固定資産	8,466,713
(1) 有形固定資産	8,042,901
(2) 無形固定資産	484
(3) 投資その他の資産	423,328
2 流動資産	5,060,576
(1) 現金及び預金	2,169,377
(2) 未収金及び未収収益	2,890,265
(3) 貸倒引当金( )	69,561
(4) 貯蔵品	64,119
3 繰延資産	-
負債合計	7,187,043
1 固定負債	4,609,172
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,857,430
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,087,038
(6) リース債務	664,704
2 流動負債	2,299,703
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	505,931
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	427,957
(6) リース債務	378,295
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	986,149
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	278,168
(1) 長期前受金	823,993
(2) 長期前受金収益化累計額( )	545,825
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	6,340,246
1 本金	6,312,924
2 剰余金	27,322
(1) 資本剰余金	71,938
(2) 利益剰余金	-44,616
負債・資本合計	13,527,289
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,787,500	3,141,031
資本勘定繰入	-	31,250
計	1,787,500	3,172,281

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	0.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	浜松市				
病院名	浜松医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	87,116 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	34	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	600	72.8	75.0	76.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	-
計	606	72.1	74.2	76.1
平均在院日数(一般病床のみ)		11.6	12.2	12.6

設立団体の状況		
人口(人)	790,718	
決算規模(千円)	410,056,352	
標準財政規模(千円)	223,069,265	
財政力指数	0.81	
経常収支比率(%)	91.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.8
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,878,407			
1 経常収益	2,867,917			
(1) 医業収益	320,673			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	320,673			
(うち他会計負担金)	320,673			
(2) 医業外収益	2,547,244			
(うち国・都道府県補助金)	260,729			
(うち他会計補助・負担金)	678,343			
(うち長期前受金戻入)	117,957			
(うち資本費繰入収益)	637,495			
(3) 特別利益	10,490			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,981,363			
2 経常費用	2,936,577			
(1) 医業費用	2,584,324			
職員給与費	10,489	3.3	58.7	51.4
材料費	-	-	26.9	32.6
(うち薬品費)	-	-	14.8	18.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	13.9
減価償却費	967,918	301.8	8.5	7.4
経費	1,519,578	473.9	21.5	16.9
(うち委託料)	1,516,350	472.9	11.5	10.0
研究研修費	-			
資産減耗費	86,339			
(2) 医業外費用	352,253			
(うち支払利息)	312,501	97.5	0.9	0.8
(3) 特別損失	44,786			
経常損益	-68,660			
純損益	-102,956			
累積欠損金	-			
経常収支比率	97.7		96.5	97.6
医業収支比率	12.4		86.0	91.7
修正医業収支比率	-		83.2	89.8
他会計繰入金対経常収益比率	34.8		11.5	7.2
他会計繰入金対医業収益比率	311.5		13.7	8.1
他会計繰入金対総収益比率	34.7		11.5	7.2
実質収益対経常費用比率	63.6		85.4	90.5

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	56,793,849
1 固定資産	50,311,479
(1) 有形固定資産	49,842,206
(2) 無形固定資産	5,790
(3) 投資その他の資産	463,483
2 流動資産	6,482,370
(1) 現金及び預金	4,096,537
(2) 未収金及び未収収益	2,378,773
(3) 貸倒引当金( )	1,910
(4) 貯蔵品	8,970
3 繰延資産	-
負債合計	42,348,183
1 固定負債	38,532,987
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	36,043,046
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	293,613
(6) リース債務	2,196,328
2 流動負債	2,618,945
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,668,013
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	41,253
(6) リース債務	168,093
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	735,634
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,196,251
(1) 長期前受金	3,640,084
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,443,833
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	14,445,666
1 本金	3,639,993
2 剰余金	10,805,673
(1) 資本剰余金	4,121,273
(2) 利益剰余金	6,684,400
負債・資本合計	56,793,849
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	616,696	999,016
資本勘定繰入	707,334	707,334
計	1,324,030	1,706,350

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		静岡県	
市町村・組合名	浜松市		
病院名	浜松市リハビリテーション病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	17,424 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	4	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(代行制)
		類似区分	200床以上~300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	180	93.3	92.8	94.7
療養	45	95.5	95.6	97.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	225	93.7	93.3	95.2
平均在院日数(一般病床のみ)		50.8	51.7	49.2

設立団体の状況		
人口(人)	790,718	
決算規模(千円)	410,056,352	
標準財政規模(千円)	223,069,265	
財政力指数	0.81	
経常収支比率(%)	91.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.8
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,139,507			
1 経常収益	4,128,347			
(1) 医業収益	3,710,567			
(うち修正医業収益)	3,710,567			
入院収益	3,151,898			
外来収益	367,260			
診療収入計	3,519,158			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	191,409			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	417,780			
(うち国・都道府県補助金)	13,388			
(うち他会計補助・負担金)	260,522			
(うち長期前受金戻入)	100,587			
(うち資本費繰入収益)	42,889			
(3) 特別利益	11,160			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,088,631			
2 経常費用	4,067,757			
(1) 医業費用	3,988,909			
職員給与費	5,822	0.2	58.7	63.9
材料費	-	-	26.9	21.1
(うち薬品費)	-	-	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	10.2
減価償却費	226,640	6.1	8.5	9.3
経費	3,755,239	101.2	21.5	28.2
(うち委託料)	3,752,718	101.1	11.5	14.0
研究研修費	-			
資産減耗費	1,208			
(2) 医業外費用	78,848			
(うち支払利息)	63,182	1.7	0.9	1.0
(3) 特別損失	20,874			
損益	60,590			
純損益	50,876			
累積欠損金	93,487			
経常収支比率	101.5		96.5	93.2
医業収支比率	93.0		86.0	81.2
修正医業収支比率	93.0		83.2	77.9
他会計繰入金対経常収益比率	6.3		11.5	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	7.0		13.7	16.1
他会計繰入金対総収益比率	6.3		11.5	13.3
実質収益対経常費用比率	95.1		85.4	80.9

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	56,793,849
1 固定資産	50,311,479
(1) 有形固定資産	49,842,206
(2) 無形固定資産	5,790
(3) 投資その他の資産	463,483
2 流動資産	6,482,370
(1) 現金及び預金	4,096,537
(2) 未収金及び未収収益	2,378,773
(3) 貸倒引当金( )	1,910
(4) 貯蔵品	8,970
3 繰延資産	-
負債合計	42,348,183
1 固定負債	38,532,987
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	36,043,046
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	293,613
(6) リース債務	2,196,328
2 流動負債	2,618,945
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,668,013
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	41,253
(6) リース債務	168,093
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	735,634
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,196,251
(1) 長期前受金	3,640,084
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,443,833
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	14,445,666
1 本金	3,639,993
2 剰余金	10,805,673
(1) 資本剰余金	4,121,273
(2) 利益剰余金	6,684,400
負債・資本合計	56,793,849
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	102,842	260,522
資本勘定繰入	130,367	130,367
計	233,209	390,889

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	浜松市				
病院名	浜松市国民健康保険佐久間病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	6,517 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	8	指定病院の状況	救 感 へ		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	36	75.5	68.5	69.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	40	68.0	61.7	62.4
平均在院日数(一般病床のみ)		20.6	18.0	24.0

設立団体の状況		
人口(人)	790,718	
決算規模(千円)	410,056,352	
標準財政規模(千円)	223,069,265	
財政力指数	0.81	
経常収支比率(%)	91.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.8
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,150,154			
1 経常収益	1,150,120			
(1) 医業収益	527,571			
(うち修正医業収益)	486,186			
入院収益	259,912			
外来収益	194,944			
診療収入計	454,856			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	72,715			
(うち他会計負担金)	41,385			
(2) 医業外収益	622,549			
(うち国・都道府県補助金)	11,357			
(うち他会計補助・負担金)	546,077			
(うち長期前受金戻入)	44,197			
(うち資本費繰入収益)	17,021			
(3) 特別利益	34			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,126,907			
2 経常費用	1,124,186			
(1) 医業費用	1,072,723			
職員給与費	550,054	104.3	58.7	89.5
材料費	102,216	19.4	26.9	13.4
(うち薬品費)	66,570	12.6	14.8	7.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	27,136	5.1	11.7	5.5
減価償却費	72,574	13.8	8.5	14.0
経費	344,991	65.4	21.5	46.3
(うち委託料)	172,057	32.6	11.5	22.2
研究研修費	923			
資産減耗費	1,965			
(2) 医業外費用	51,463			
(うち支払利息)	5,022	1.0	0.9	1.0
(3) 特別損失	2,721			
損益	25,934			
純損益	23,247			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.3		96.5	97.3
医業収支比率	49.2		86.0	60.9
修正医業収支比率	45.3		83.2	56.2
他会計繰入金対経常収益比率	51.1		11.5	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	111.4		13.7	59.4
他会計繰入金対総収益比率	51.1		11.5	35.0
実質収益対経常費用比率	50.1		85.4	63.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	56,793,849
1 固定資産	50,311,479
(1) 有形固定資産	49,842,206
(2) 無形固定資産	5,790
(3) 投資その他の資産	463,483
2 流動資産	6,482,370
(1) 現金及び預金	4,096,537
(2) 未収金及び未収収益	2,378,773
(3) 貸倒引当金( )	1,910
(4) 貯蔵品	8,970
3 繰延資産	-
負債合計	42,348,183
1 固定負債	38,532,987
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	36,043,046
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	293,613
(6) リース債務	2,196,328
2 流動負債	2,618,945
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,668,013
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	41,253
(6) リース債務	168,093
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	735,634
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,196,251
(1) 長期前受金	3,640,084
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,443,833
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	14,445,666
1 本金	3,639,993
2 剰余金	10,805,673
(1) 資本剰余金	4,121,273
(2) 利益剰余金	6,684,400
負債・資本合計	56,793,849
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	517,084	587,462
資本勘定繰入	21,713	41,460
計	538,797	628,922

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名 静岡県	
市町村・組合名	沼津市				
病院名	沼津市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	45,309 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	24	指定病院の状況	救臨 災地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	387	63.6	65.2	63.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	387	63.6	65.2	63.8
平均在院日数(一般病床のみ)		12.5	12.5	12.2

設立団体の状況		
人口(人)	189,386	
決算規模(千円)	87,129,399	
標準財政規模(千円)	42,039,368	
財政力指数	0.91	
経常収支比率(%)	87.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.6
	将来負担比率(%)	12.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,040,852			
1 経常収益	11,040,670			
(1) 医業収益	9,334,971			
(うち修正医業収益)	8,558,971			
入院収益	6,073,841			
外来収益	2,377,620			
診療収入計	8,451,461			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	883,510			
(うち他会計負担金)	776,000			
(2) 医業外収益	1,705,699			
(うち国・都道府県補助金)	414,645			
(うち他会計補助・負担金)	1,124,414			
(うち長期前受金戻入)	31,553			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	182			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,243,339			
2 経常費用	11,243,339			
(1) 医業費用	10,756,517			
職員給与費	5,553,034	59.5	58.7	59.2
材料費	2,415,998	25.9	26.9	26.1
(うち薬品費)	1,031,209	11.0	14.8	14.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,380,550	14.8	11.7	11.1
減価償却費	553,214	5.9	8.5	8.5
経費	2,190,203	23.5	21.5	21.3
(うち委託料)	1,055,518	11.3	11.5	11.7
研究研修費	22,091			
資産減耗費	21,977			
(2) 医業外費用	486,822			
(うち支払利息)	16,951	0.2	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-202,669			
純損益	-202,487			
累積欠損金	5,968,622			
経常収支比率	98.2		96.5	95.9
医業収支比率	86.8		86.0	86.4
修正医業収支比率	79.6		83.2	83.7
他会計繰入金対経常収益比率	17.2		11.5	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	20.4		13.7	11.5
他会計繰入金対総収益比率	17.2		11.5	9.8
実質収益対経常費用比率	81.3		85.4	86.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	10,904,710
1 固定資産	8,207,427
(1) 有形固定資産	8,076,526
(2) 無形固定資産	97,021
(3) 投資その他の資産	33,880
2 流動資産	2,697,283
(1) 現金及び預金	1,177,698
(2) 未収金及び未収収益	1,477,109
(3) 貸倒引当金( )	14,155
(4) 貯蔵品	36,494
3 繰延資産	-
負債合計	6,234,440
1 固定負債	4,069,034
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,630,211
(2) その他の企業債	255,636
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,174,136
(6) リース債務	9,051
2 流動負債	1,868,808
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	477,314
(2) その他の企業債	22,852
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	309,789
(6) リース債務	2,586
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,007,108
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	296,598
(1) 長期前受金	1,176,672
(2) 長期前受金収益化累計額( )	880,074
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	4,670,270
1 本金	10,638,892
2 剰余金	-5,968,622
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-5,968,622
負債・資本合計	10,904,710
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,300,414	1,900,414
資本勘定繰入	200,000	200,000
計	1,500,414	2,100,414

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	63.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	富士宮市				
病院名	富士宮市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	23,298 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	17	指定病院の状況	救臨 災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	380	66.2	64.7	64.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	380	66.2	64.7	64.4
平均在院日数(一般病床のみ)		11.7	11.4	10.9

設立団体の状況		
人口(人)	128,105	
決算規模(千円)	56,358,555	
標準財政規模(千円)	28,212,057	
財政力指数	0.84	
経常収支比率(%)	90.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.4
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,824,287			
1 経常収益	10,824,287			
(1) 医業収益	9,370,402			
(うち修正医業収益)	9,013,420			
入院収益	5,481,995			
外来収益	3,398,244			
診療収入計	8,880,239			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	490,163			
(うち他会計負担金)	356,982			
(2) 医業外収益	1,453,885			
(うち国・都道府県補助金)	217,811			
(うち他会計補助・負担金)	1,155,553			
(うち長期前受金戻入)	23,184			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,167,906			
2 経常費用	11,159,986			
(1) 医業費用	10,649,644			
職員給与費	5,375,856	57.4	58.7	59.2
材料費	2,961,033	31.6	26.9	26.1
(うち薬品費)	2,057,274	22.0	14.8	14.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	903,086	9.6	11.7	11.1
減価償却費	580,849	6.2	8.5	8.5
経費	1,693,554	18.1	21.5	21.3
(うち委託料)	831,209	8.9	11.5	11.7
研究研修費	22,107			
資産減耗費	16,245			
(2) 医業外費用	510,342			
(うち支払利息)	4,684	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	7,920			
経常損益	-335,699			
純損益	-343,619			
累積欠損金	4,952,397			
経常収支比率	97.0		96.5	95.9
医業収支比率	88.0		86.0	86.4
修正医業収支比率	84.6		83.2	83.7
他会計繰入金対経常収益比率	14.0		11.5	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	16.1		13.7	11.5
他会計繰入金対総収益比率	14.0		11.5	9.8
実質収益対経常費用比率	83.4		85.4	86.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	10,545,910
1 固定資産	7,099,923
(1) 有形固定資産	6,965,991
(2) 無形固定資産	2,652
(3) 投資その他の資産	131,280
2 流動資産	3,445,987
(1) 現金及び預金	1,960,808
(2) 未収金及び未収収益	1,431,471
(3) 貸倒引当金( )	987
(4) 貯蔵品	45,628
3 繰延資産	-
負債合計	3,366,732
1 固定負債	1,793,837
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,373,286
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	406,553
(6) リース債務	13,998
2 流動負債	1,414,612
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	197,140
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	301,544
(6) リース債務	4,948
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	852,595
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	158,283
(1) 長期前受金	382,651
(2) 長期前受金収益化累計額( )	224,368
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	7,179,178
1 資本金	11,817,863
2 剰余金	-4,638,685
(1) 資本剰余金	313,712
(2) 利益剰余金	-4,952,397
負債・資本合計	10,545,910
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,512,535	1,512,535
資本勘定繰入	187,465	187,465
計	1,700,000	1,700,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	52.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		静岡県	
市町村・組合名	伊東市		
病院名	伊東市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド I 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	18,628 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	20	指定病院の状況	救臨 災地
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	200床以上~300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	250	73.3	72.1	67.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	250	73.3	72.1	67.9
平均在院日数(一般病床のみ)		17.8	17.6	16.7

設立団体の状況		
人口(人)	65,491	
決算規模(千円)	31,486,311	
標準財政規模(千円)	16,745,501	
財政力指数	0.65	
経常収支比率(%)	88.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.9
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	423,327			
1 経常収益	423,327			
(1) 医業収益	55,000			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	55,000			
(うち他会計負担金)	55,000			
(2) 医業外収益	368,327			
(うち国・都道府県補助金)	13,464			
(うち他会計補助・負担金)	231,636			
(うち長期前受金戻入)	16,183			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	357,034			
2 経常費用	357,034			
(1) 医業費用	303,280			
職員給与費	13,720	24.9	58.7	63.9
材料費	-	-	26.9	21.1
(うち薬品費)	-	-	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	10.2
減価償却費	178,055	323.7	8.5	9.3
経費	108,370	197.0	21.5	28.2
(うち委託料)	85,946	156.3	11.5	14.0
研究研修費	-			
資産減耗費	3,135			
(2) 医業外費用	53,754			
(うち支払利息)	44,597	81.1	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	66,293			
純損益	66,293			
累積欠損金	736,782			
経常収支比率	118.6		96.5	93.2
医業収支比率	18.1		86.0	81.2
修正医業収支比率	-		83.2	77.9
他会計繰入金対経常収益比率	67.7		11.5	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	521.2		13.7	16.1
他会計繰入金対総収益比率	67.7		11.5	13.3
実質収益対経常費用比率	38.3		85.4	80.9

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	6,236,625
1 固定資産	4,286,618
(1) 有形固定資産	4,144,938
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	141,680
2 流動資産	1,950,007
(1) 現金及び預金	1,928,640
(2) 未収金及び未収収益	1,369
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	3,402,705
1 固定負債	2,721,044
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,721,044
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	206,365
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	163,870
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,263
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	41,197
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	475,296
(1) 長期前受金	644,155
(2) 長期前受金収益化累計額( )	168,859
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	2,833,920
1 資本金	3,310,142
2 剰余金	-476,222
(1) 資本剰余金	260,560
(2) 利益剰余金	-736,782
負債・資本合計	6,236,625
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	77,461	286,636
資本勘定繰入	83,364	83,364
計	160,825	370,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1339.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	島田市				
病院名	島田市立総合医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	38,070 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	31	指定病院の状況	救臨感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	435	83.6	80.7	79.2
療養	-	-	-	-
結核	4	19.7	15.4	4.6
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	4.6	92.5
計	445	81.9	79.1	77.8
平均在院日数(一般病床のみ)		13.7	13.6	13.1

設立団体の状況		
人口(人)	95,719	
決算規模(千円)	46,134,280	
標準財政規模(千円)	23,409,856	
財政力指数	0.69	
経常収支比率(%)	92.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.7
	将来負担比率(%)	9.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	14,707,277			
1 経常収益	14,707,277			
(1) 医業収益	13,466,197			
(うち修正医業収益)	13,321,667			
入院収益	8,106,050			
外来収益	4,920,161			
診療収入計	13,026,211			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	439,986			
(うち他会計負担金)	144,530			
(2) 医業外収益	1,241,080			
(うち国・都道府県補助金)	272,860			
(うち他会計補助・負担金)	737,508			
(うち長期前受金戻入)	40,603			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	16,027,642			
2 経常費用	16,027,642			
(1) 医業費用	14,984,922			
職員給与費	7,334,763	54.5	58.7	55.7
材料費	4,222,147	31.4	26.9	28.9
(うち薬品費)	2,505,545	18.6	14.8	15.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,713,139	12.7	11.7	12.7
減価償却費	1,557,525	11.6	8.5	7.9
経費	1,813,757	13.5	21.5	18.1
(うち委託料)	1,044,155	7.8	11.5	10.0
研究研修費	52,552			
資産減耗費	4,178			
(2) 医業外費用	1,042,720			
(うち支払利息)	88,996	0.7	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-1,320,365			
純損失	-1,320,365			
累積欠損金	14,318,179			
経常収支比率	91.8		96.5	97.5
医業収支比率	89.9		86.0	90.0
修正医業収支比率	88.9		83.2	87.2
他会計繰入金対経常収益比率	6.0		11.5	9.6
他会計繰入金対医業収益比率	6.6		13.7	11.0
他会計繰入金対総収益比率	6.0		11.5	9.7
実質収益対経常費用比率	86.3		85.4	88.1

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	29,319,595
1 固定資産	24,292,017
(1) 有形固定資産	22,610,155
(2) 無形固定資産	4,436
(3) 投資その他の資産	1,677,426
2 流動資産	5,027,578
(1) 現金及び預金	2,423,777
(2) 未収金及び未収収益	2,457,769
(3) 貸倒引当金( )	15,166
(4) 貯蔵品	154,442
3 繰延資産	-
負債合計	19,669,735
1 固定負債	17,136,113
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,169,687
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,966,426
(6) リース債務	-
2 流動負債	2,264,893
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	864,399
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	497,825
(6) リース債務	954
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	896,458
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	268,729
(1) 長期前受金	574,505
(2) 長期前受金収益化累計額( )	305,776
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	9,649,860
1 本金	23,929,656
2 剰余金	-14,279,796
(1) 資本剰余金	37,613
(2) 利益剰余金	-14,317,409
負債・資本合計	29,319,595
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	879,913	882,038
資本勘定繰入	350,772	350,772
計	1,230,685	1,232,810

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	106.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	富士市				
病院名	中央病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透し未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	30,999 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	27	指定病院の状況	救急が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	504	74.6	69.8	71.8
療養	-	-	-	-
結核	10	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	1.1	14.5	2.3
計	520	72.3	67.8	69.6
平均在院日数(一般病床のみ)		11.7	11.4	11.8

設立団体の状況		
人口(人)	245,392	
決算規模(千円)	101,158,700	
標準財政規模(千円)	52,773,427	
財政力指数	1.00	
経常収支比率(%)	90.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.8
	将来負担比率(%)	63.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	15,771,562			
1 経常収益	15,771,562			
(1) 医業収益	14,270,272			
(うち修正医業収益)	13,578,403			
入院収益	9,418,920			
外来収益	3,994,545			
診療収入計	13,413,465			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	856,807			
(うち他会計負担金)	691,869			
(2) 医業外収益	1,501,290			
(うち国・都道府県補助金)	629,917			
(うち他会計補助・負担金)	686,294			
(うち長期前受金戻入)	44,954			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	15,780,739			
2 経常費用	15,780,739			
(1) 医業費用	15,103,371			
職員給与費	8,398,104	58.9	58.7	51.4
材料費	3,897,673	27.3	26.9	32.6
(うち薬品費)	2,231,018	15.6	14.8	18.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,666,655	11.7	11.7	13.9
減価償却費	475,048	3.3	8.5	7.4
経費	2,271,522	15.9	21.5	16.9
(うち委託料)	1,291,846	9.1	11.5	10.0
研究研修費	48,358			
資産減耗費	12,666			
(2) 医業外費用	677,368			
(うち支払利息)	1,419	-	0.9	0.8
(3) 特別損失	-			
経常損	-9,177			
純損	-9,177			
累積欠損金	-			
経常収支比率	99.9		96.5	97.6
医業収支比率	94.5		86.0	91.7
修正医業収支比率	89.9		83.2	89.8
他会計繰入金対経常収益比率	8.7		11.5	7.2
他会計繰入金対医業収益比率	9.7		13.7	8.1
他会計繰入金対総収益比率	8.7		11.5	7.2
実質収益対経常費用比率	91.2		85.4	90.5

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	16,296,322
1 固定資産	8,513,271
(1) 有形固定資産	6,505,962
(2) 無形固定資産	7,289
(3) 投資その他の資産	2,000,020
2 流動資産	7,783,051
(1) 現金及び預金	5,401,936
(2) 未収金及び未収収益	2,345,203
(3) 貸倒引当金( )	33,663
(4) 貯蔵品	49,441
3 繰延資産	-
負債合計	6,791,729
1 固定負債	4,391,210
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,356,504
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	3,034,706
(6) リース債務	-
2 流動負債	2,067,685
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	479,670
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	456,370
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,077,147
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	332,834
(1) 長期前受金	1,141,877
(2) 長期前受金収益化累計額( )	809,043
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	9,504,593
1 本金	7,395,889
2 剰余金	2,108,704
(1) 資本剰余金	329,090
(2) 利益剰余金	1,779,614
負債・資本合計	16,296,322
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,378,163	1,378,163
資本勘定繰入	257,569	-
計	1,635,732	1,378,163

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	磐田市				
病院名	磐田市立総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	44,318 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	34	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	498	73.2	72.0	76.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	19.1	23.7	34.4
計	500	72.9	71.8	75.9
平均在院日数(一般病床のみ)		10.0	10.4	11.3

設立団体の状況		
人口(人)	166,672	
決算規模(千円)	70,454,399	
標準財政規模(千円)	40,307,180	
財政力指数	0.78	
経常収支比率(%)	87.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	0.9
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	18,502,613			
1 経常収益	18,473,893			
(1) 医業収益	17,444,655			
(うち修正医業収益)	17,175,885			
入院収益	10,845,054			
外来収益	5,833,948			
診療収入計	16,679,002			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	765,653			
(うち他会計負担金)	268,770			
(2) 医業外収益	1,029,238			
(うち国・都道府県補助金)	524,792			
(うち他会計補助・負担金)	326,515			
(うち長期前受金戻入)	78,575			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	28,720			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	20,143,001			
2 経常費用	19,976,006			
(1) 医業費用	18,996,433			
職員給与費	9,628,810	55.2	58.7	51.4
材料費	4,779,564	27.4	26.9	32.6
(うち薬品費)	3,045,823	17.5	14.8	18.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,732,394	9.9	11.7	13.9
減価償却費	1,081,982	6.2	8.5	7.4
経費	3,426,635	19.6	21.5	16.9
(うち委託料)	1,920,044	11.0	11.5	10.0
研究研修費	62,530			
資産減耗費	16,912			
(2) 医業外費用	979,573			
(うち支払利息)	124,769	0.7	0.9	0.8
(3) 特別損失	166,995			
損益	-1,502,113			
純損益	-1,640,388			
累積欠損金	16,888,110			
経常収支比率	92.5		96.5	97.6
医業収支比率	91.8		86.0	91.7
修正医業収支比率	90.4		83.2	89.8
他会計繰入金対経常収益比率	3.2		11.5	7.2
他会計繰入金対医業収益比率	3.4		13.7	8.1
他会計繰入金対総収益比率	3.2		11.5	7.2
実質収益対経常費用比率	89.5		85.4	90.5

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	17,862,010
1 固定資産	13,409,713
(1) 有形固定資産	13,050,138
(2) 無形固定資産	4,647
(3) 投資その他の資産	354,928
2 流動資産	4,452,297
(1) 現金及び預金	1,572,107
(2) 未収金及び未収収益	2,807,155
(3) 貸倒引当金( )	23,092
(4) 貯蔵品	96,127
3 繰延資産	-
負債合計	11,981,563
1 固定負債	7,558,536
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,007,536
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,451,000
(6) リース債務	-
2 流動負債	3,616,174
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,592,309
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	555,295
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,468,570
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	806,853
(1) 長期前受金	1,983,127
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,176,274
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	5,880,447
1 本金	22,768,557
2 剰余金	-16,888,110
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-16,888,110
負債・資本合計	17,862,010
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,027,941	595,285
資本勘定繰入	1,166,066	1,129,066
計	2,194,007	1,724,351

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	96.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	焼津市				
病院名	焼津市立総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透末訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	33,220 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	-	指定病院の状況	救臨 災地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	423	77.8	67.6	70.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	423	77.8	67.6	70.3
平均在院日数(一般病床のみ)		12.7	12.6	11.6

設立団体の状況		
人口(人)	136,845	
決算規模(千円)	63,226,374	
標準財政規模(千円)	28,967,623	
財政力指数	0.82	
経常収支比率(%)	92.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	14,521,262			
1 経常収益	14,521,262			
(1) 医業収益	12,887,495			
(うち修正医業収益)	12,360,087			
入院収益	7,802,615			
外来収益	4,334,588			
診療収入計	12,137,203			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	750,292			
(うち他会計負担金)	527,408			
(2) 医業外収益	1,633,767			
(うち国・都道府県補助金)	360,444			
(うち他会計補助・負担金)	760,205			
(うち長期前受金戻入)	107,532			
(うち資本費繰入収益)	300,050			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	14,686,813			
2 経常費用	14,686,813			
(1) 医業費用	13,928,506			
職員給与費	7,989,157	62.0	58.7	55.7
材料費	3,387,547	26.3	26.9	28.9
(うち薬品費)	2,176,670	16.9	14.8	15.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,139,959	8.8	11.7	12.7
減価償却費	608,098	4.7	8.5	7.9
経費	1,887,933	14.6	21.5	18.1
(うち委託料)	1,117,534	8.7	11.5	10.0
研究研修費	43,052			
資産減耗費	12,719			
(2) 医業外費用	758,307			
(うち支払利息)	6,475	0.1	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	-165,551			
純損益	-165,551			
累積欠損金	9,441,769			
経常収支比率	98.9		96.5	97.5
医業収支比率	92.5		86.0	90.0
修正医業収支比率	88.7		83.2	87.2
他会計繰入金対経常収益比率	8.9		11.5	9.6
他会計繰入金対医業収益比率	10.0		13.7	11.0
他会計繰入金対総収益比率	8.9		11.5	9.7
実質収益対経常費用比率	90.1		85.4	88.1

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	12,063,949
1 固定資産	6,816,992
(1) 有形固定資産	6,116,915
(2) 無形固定資産	9,545
(3) 投資その他の資産	690,532
2 流動資産	5,246,957
(1) 現金及び預金	2,928,160
(2) 未収金及び未収収益	2,237,890
(3) 貸倒引当金( )	6,260
(4) 貯蔵品	87,167
3 繰延資産	-
負債合計	8,710,290
1 固定負債	5,645,526
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,285,613
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	3,359,913
(6) リース債務	-
2 流動負債	2,495,266
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	267,588
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	587,324
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,629,407
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	569,498
(1) 長期前受金	1,635,251
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,065,753
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	3,353,659
1 本金	12,688,777
2 剰余金	-9,335,118
(1) 資本剰余金	106,651
(2) 利益剰余金	-9,441,769
負債・資本合計	12,063,949
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,287,613	1,287,613
資本勘定繰入	425,997	475,997
計	1,713,610	1,763,610

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	73.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	藤枝市				
病院名	藤枝市立総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	57,940 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	35	指定病院の状況	救臨が 災地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	564	73.6	74.7	74.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	564	73.6	74.7	74.0
平均在院日数(一般病床のみ)		10.9	11.5	11.8

設立団体の状況		
人口(人)	141,342	
決算規模(千円)	60,147,020	
標準財政規模(千円)	30,261,579	
財政力指数	0.82	
経常収支比率(%)	88.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.0
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	21,451,776			
1 経常収益	20,946,484			
(1) 医業収益	19,441,544			
(うち修正医業収益)	18,792,644			
入院収益	11,000,801			
外来収益	7,440,939			
診療収入計	18,441,740			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	999,804			
(うち他会計負担金)	648,900			
(2) 医業外収益	1,504,940			
(うち国・都道府県補助金)	662,443			
(うち他会計補助・負担金)	680,000			
(うち長期前受金戻入)	85,377			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	505,292			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	21,436,870			
2 経常費用	21,382,898			
(1) 医業費用	20,260,180			
職員給与費	10,532,645	54.2	58.7	51.4
材料費	6,090,891	31.3	26.9	32.6
(うち薬品費)	4,161,792	21.4	14.8	18.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,826,033	9.4	11.7	13.9
減価償却費	946,000	4.9	8.5	7.4
経費	2,619,778	13.5	21.5	16.9
(うち委託料)	1,509,028	7.8	11.5	10.0
研究研修費	57,771			
資産減耗費	13,095			
(2) 医業外費用	1,122,718			
(うち支払利息)	79,944	0.4	0.9	0.8
(3) 特別損失	53,972			
経常損益	-436,414			
純損益	14,906			
累積欠損金	9,724,578			
経常収支比率	98.0		96.5	97.6
医業収支比率	96.0		86.0	91.7
修正医業収支比率	92.8		83.2	89.8
他会計繰入金対経常収益比率	6.3		11.5	7.2
他会計繰入金対医業収益比率	6.8		13.7	8.1
他会計繰入金対総収益比率	6.2		11.5	7.2
実質収益対経常費用比率	91.7		85.4	90.5

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	24,911,509
1 固定資産	15,437,757
(1) 有形固定資産	14,844,651
(2) 無形固定資産	8,247
(3) 投資その他の資産	584,859
2 流動資産	9,473,752
(1) 現金及び預金	6,080,150
(2) 未収金及び未収収益	3,275,115
(3) 貸倒引当金( )	3,000
(4) 貯蔵品	119,622
3 繰延資産	-
負債合計	13,807,488
1 固定負債	7,097,482
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,859,753
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,237,729
(6) リース債務	-
2 流動負債	5,865,625
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,506,867
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	605,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,672,785
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	844,381
(1) 長期前受金	2,789,634
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,945,253
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	11,104,021
1 本金	20,820,203
2 剰余金	-9,716,182
(1) 資本剰余金	8,396
(2) 利益剰余金	-9,724,578
負債・資本合計	24,911,509
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,631,000	1,328,900
資本勘定繰入	938,300	581,100
計	2,569,300	1,910,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	50.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和5年度)</b>		都道府県名	
		静岡県	
市町村・組合名	袋井市		
病院名	袋井市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	87,864
決算規模(千円)	40,236,081
標準財政規模(千円)	20,678,940
財政力指数	0.81
経常収支比率(%)	92.8
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	58.7	89.5
材料費	-	-	26.9	13.4
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	5.5
減価償却費	-	-	8.5	14.0
経費	-	-	21.5	46.3
(うち委託料)	-	-	11.5	22.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		96.5	97.3
医業収支比率	-		86.0	60.9
修正医業収支比率	-		83.2	56.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.5	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	59.4
他会計繰入金対総収益比率	-		11.5	35.0
実質収益対経常費用比率	-		85.4	63.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	袋井市				
病院名	聖隷袋井市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	10,399 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	5	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(代行制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	100	87.8	82.1	81.7
療養	50	92.4	84.9	86.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	89.4	83.0	83.2
平均在院日数(一般病床のみ)		38.2	47.4	46.7

設立団体の状況		
人口(人)	87,864	
決算規模(千円)	40,236,081	
標準財政規模(千円)	20,678,940	
財政力指数	0.81	
経常収支比率(%)	92.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.1
	将来負担比率(%)	52.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,852,222			
1 経常収益	1,833,609			
(1) 医業収益	1,546,207			
(うち修正医業収益)	1,546,207			
入院収益	1,345,144			
外来収益	94,456			
診療収入計	1,439,600			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	106,607			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	287,402			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	249,240			
(うち長期前受金戻入)	9,440			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	18,613			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,837,315			
2 経常費用	1,817,610			
(1) 医業費用	1,810,320			
職員給与費	4,545	0.3	58.7	67.7
材料費	-	-	26.9	18.3
(うち薬品費)	-	-	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	9.1
減価償却費	77,937	5.0	8.5	10.3
経費	1,727,692	111.7	21.5	29.4
(うち委託料)	17,144	1.1	11.5	13.6
研究研修費	-			
資産減耗費	146			
(2) 医業外費用	7,290			
(うち支払利息)	356	-	0.9	1.1
(3) 特別損失	19,705			
損益	15,999			
純損益	14,907			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.9		96.5	95.4
医業収支比率	85.4		86.0	79.1
修正医業収支比率	85.4		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	13.6		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	16.1		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	13.5		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	87.2		85.4	79.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,304,596
1 固定資産	963,743
(1) 有形固定資産	907,336
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	56,407
2 流動資産	340,853
(1) 現金及び預金	95,839
(2) 未収金及び未収収益	249,271
(3) 貸倒引当金( )	4,257
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	568,312
1 固定負債	179,304
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	175,658
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	3,646
(6) リース債務	-
2 流動負債	197,637
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	56,726
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	355
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	140,556
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	191,371
(1) 長期前受金	295,995
(2) 長期前受金収益化累計額( )	104,624
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	736,284
1 本金	556,500
2 剰余金	179,784
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	179,784
負債・資本合計	1,304,596
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	178	249,240
資本勘定繰入	71,590	72,000
計	71,768	321,240

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	湖西市				
病院名	市立湖西病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	12,962 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	20	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	196	33.6	26.0	26.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	196	33.6	26.0	26.8
平均在院日数(一般病床のみ)		17.4	16.0	16.1

設立団体の状況		
人口(人)	57,885	
決算規模(千円)	26,004,373	
標準財政規模(千円)	14,190,040	
財政力指数	1.00	
経常収支比率(%)	92.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.9
	将来負担比率(%)	2.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,096,691			
1 経常収益	3,028,087			
(1) 医業収益	2,229,592			
(うち修正医業収益)	2,048,977			
入院収益	919,478			
外来収益	834,148			
診療収入計	1,753,626			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	475,966			
(うち他会計負担金)	180,615			
(2) 医業外収益	798,495			
(うち国・都道府県補助金)	49,398			
(うち他会計補助・負担金)	631,628			
(うち長期前受金戻入)	106,694			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	68,604			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,005,274			
2 経常費用	3,003,488			
(1) 医業費用	2,894,743			
職員給与費	1,650,053	74.0	58.7	67.7
材料費	277,726	12.5	26.9	18.3
(うち薬品費)	98,891	4.4	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	178,532	8.0	11.7	9.1
減価償却費	223,419	10.0	8.5	10.3
経費	734,252	32.9	21.5	29.4
(うち委託料)	420,528	18.9	11.5	13.6
研究研修費	4,680			
資産減耗費	4,613			
(2) 医業外費用	108,745			
(うち支払利息)	4,019	0.2	0.9	1.1
(3) 特別損失	1,786			
経常損益	24,599			
純損益	91,417			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.8		96.5	95.4
医業収支比率	77.0		86.0	79.1
修正医業収支比率	70.8		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	26.8		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	36.4		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	26.2		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	73.8		85.4	79.2

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	4,859,687
1 固定資産	3,329,130
(1) 有形固定資産	3,247,691
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	81,439
2 流動資産	1,530,557
(1) 現金及び預金	1,187,983
(2) 未収金及び未収収益	326,327
(3) 貸倒引当金( )	2,258
(4) 貯蔵品	17,702
3 繰延資産	-
負債合計	2,141,231
1 固定負債	718,323
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	539,582
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	49,437
(6) リース債務	129,304
2 流動負債	535,693
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	107,480
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	100,973
(6) リース債務	52,805
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	271,081
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	887,215
(1) 長期前受金	3,292,173
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,404,958
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	2,718,456
1 資本金	1,622,323
2 剰余金	1,096,133
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	1,096,133
負債・資本合計	4,859,687
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	377,243	812,243
資本勘定繰入	64,615	64,615
計	441,858	876,858

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	御前崎市				
病院名	市立御前崎総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	19,523 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	15	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	145	74.7	70.3	77.1
療養	54	87.3	80.4	82.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	78.1	73.0	78.6
平均在院日数(一般病床のみ)		13.0	16.3	16.4

設立団体の状況		
人口(人)	31,103	
決算規模(千円)	15,520,648	
標準財政規模(千円)	8,829,372	
財政力指数	0.92	
経常収支比率(%)	89.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.0
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,016,587			
1 経常収益	5,010,084			
(1) 医業収益	3,736,711			
(うち修正医業収益)	3,639,211			
入院収益	2,142,906			
外来収益	1,207,435			
診療収入計	3,350,341			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	386,370			
(うち他会計負担金)	97,500			
(2) 医業外収益	1,273,373			
(うち国・都道府県補助金)	26,138			
(うち他会計補助・負担金)	848,700			
(うち長期前受金戻入)	95,199			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,503			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,457,485			
2 経常費用	5,453,678			
(1) 医業費用	4,806,096			
職員給与費	2,780,786	74.4	58.7	67.7
材料費	666,777	17.8	26.9	18.3
(うち薬品費)	399,276	10.7	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	267,212	7.2	11.7	9.1
減価償却費	419,149	11.2	8.5	10.3
経費	920,791	24.6	21.5	29.4
(うち委託料)	618,601	16.6	11.5	13.6
研究研修費	14,715			
資産減耗費	3,878			
(2) 医業外費用	647,582			
(うち支払利息)	3,579	0.1	0.9	1.1
(3) 特別損失	3,807			
経常損益	-443,594			
純損益	-440,898			
累積欠損金	678,704			
経常収支比率	91.9		96.5	95.4
医業収支比率	77.7		86.0	79.1
修正医業収支比率	75.7		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	18.9		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	25.3		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	18.9		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	74.5		85.4	79.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	6,582,881
1 固定資産	4,780,641
(1) 有形固定資産	4,572,359
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	208,282
2 流動資産	1,802,240
(1) 現金及び預金	1,123,982
(2) 未収金及び未収収益	614,288
(3) 貸倒引当金( )	2,060
(4) 貯蔵品	63,131
3 繰延資産	-
負債合計	2,810,905
1 固定負債	1,102,742
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	961,042
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	99,263
(6) リース債務	42,437
2 流動負債	554,666
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	101,429
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	188,500
(6) リース債務	13,679
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	224,529
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,153,497
(1) 長期前受金	4,901,510
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,748,013
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	3,771,976
1 本金	4,450,680
2 剰余金	-678,704
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-678,704
負債・資本合計	6,582,881
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	376,200	946,200
資本勘定繰入	20,000	20,000
計	396,200	966,200

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	18.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	菊川市				
病院名	菊川市立総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	17,452 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	15	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	202	75.8	67.9	71.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	58	47.8	48.1	53.2
感染症	-	-	-	-
計	260	69.6	63.5	67.2
平均在院日数(一般病床のみ)		17.0	15.7	16.5

設立団体の状況		
人口(人)	47,789	
決算規模(千円)	21,197,821	
標準財政規模(千円)	12,300,267	
財政力指数	0.70	
経常収支比率(%)	93.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.9
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,820,467			
1 経常収益	5,820,019			
(1) 医業収益	4,907,992			
(うち修正医業収益)	4,731,553			
入院収益	3,150,320			
外来収益	1,287,664			
診療収入計	4,437,984			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	470,008			
(うち他会計負担金)	176,439			
(2) 医業外収益	912,027			
(うち国・都道府県補助金)	137,941			
(うち他会計補助・負担金)	672,197			
(うち長期前受金戻入)	45,931			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	448			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,940,565			
2 経常費用	5,907,978			
(1) 医業費用	5,616,391			
職員給与費	3,253,488	66.3	58.7	63.9
材料費	836,650	17.0	26.9	21.1
(うち薬品費)	292,874	6.0	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	495,505	10.1	11.7	10.2
減価償却費	294,403	6.0	8.5	9.3
経費	1,197,687	24.4	21.5	28.2
(うち委託料)	700,479	14.3	11.5	14.0
研究研修費	17,481			
資産減耗費	16,682			
(2) 医業外費用	291,587			
(うち支払利息)	48,594	1.0	0.9	1.0
(3) 特別損失	32,587			
損益	-87,959			
純損益	-120,098			
累積欠損金	3,463,292			
経常収支比率	98.5		96.5	93.2
医業収支比率	87.4		86.0	81.2
修正医業収支比率	84.2		83.2	77.9
他会計繰入金対経常収益比率	14.6		11.5	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	17.3		13.7	16.1
他会計繰入金対総収益比率	14.6		11.5	13.3
実質収益対経常費用比率	84.1		85.4	80.9

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	6,564,283
1 固定資産	5,528,311
(1) 有形固定資産	5,327,784
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	200,527
2 流動資産	1,035,972
(1) 現金及び預金	213,625
(2) 未収金及び未収収益	798,889
(3) 貸倒引当金( )	630
(4) 貯蔵品	24,088
3 繰延資産	-
負債合計	3,939,108
1 固定負債	2,273,753
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,216,800
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	56,953
(6) リース債務	-
2 流動負債	1,111,395
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	597,822
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	224,015
(6) リース債務	727
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	288,831
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	553,960
(1) 長期前受金	1,260,705
(2) 長期前受金収益化累計額( )	706,745
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	2,625,175
1 本金	6,088,467
2 剰余金	-3,463,292
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-3,463,292
負債・資本合計	6,564,283
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	650,162	848,636
資本勘定繰入	339,421	276,364
計	989,583	1,125,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	70.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和5年度)</b>				都道府県名 静岡県	
市町村・組合名	森町				
病院名	公立森町病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,766 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	13	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	131	84.1	66.2	68.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	131	84.1	66.2	68.3
平均在院日数(一般病床のみ)		14.2	20.7	20.9

設立団体の状況	
人口(人)	17,457
決算規模(千円)	10,247,901
標準財政規模(千円)	5,534,762
財政力指数	0.54
経常収支比率(%)	93.1
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,973,577			
1 経常収益	2,970,301			
(1) 医業収益	2,537,872			
(うち修正医業収益)	2,523,756			
入院収益	1,590,808			
外来収益	763,943			
診療収入計	2,354,751			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	183,121			
(うち他会計負担金)	14,116			
(2) 医業外収益	432,429			
(うち国・都道府県補助金)	53,884			
(うち他会計補助・負担金)	254,321			
(うち長期前受金戻入)	15,243			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,276			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,111,567			
2 経常費用	3,098,868			
(1) 医業費用	2,889,953			
職員給与費	1,741,002	68.6	58.7	67.7
材料費	285,748	11.3	26.9	18.3
(うち薬品費)	126,360	5.0	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	159,388	6.3	11.7	9.1
減価償却費	159,056	6.3	8.5	10.3
経費	694,021	27.3	21.5	29.4
(うち委託料)	387,923	15.3	11.5	13.6
研究研修費	5,887			
資産減耗費	4,271			
(2) 医業外費用	208,915			
(うち支払利息)	26,185	1.0	0.9	1.1
(3) 特別損失	12,699			
損益	経常損益	-128,567		
	純損益	-137,990		
累積欠損金	3,115,031			
経常収支比率	95.9		96.5	95.4
医業収支比率	87.8		86.0	79.1
修正医業収支比率	87.3		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	9.0		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	10.6		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	9.0		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	87.2		85.4	79.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	3,640,180
1 固定資産	3,052,511
(1) 有形固定資産	3,021,509
(2) 無形固定資産	71
(3) 投資その他の資産	30,931
2 流動資産	587,669
(1) 現金及び預金	132,003
(2) 未収金及び未収収益	447,695
(3) 貸倒引当金( )	3,615
(4) 貯蔵品	11,586
3 繰延資産	-
負債合計	1,889,110
1 固定負債	836,043
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	806,542
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	29,501
(6) リース債務	-
2 流動負債	707,535
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	327,964
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	134,787
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	100,000
(8) 未払金及び未払費用	133,488
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	345,532
(1) 長期前受金	708,532
(2) 長期前受金収益化累計額( )	363,000
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,751,070
1 資本金	4,866,101
2 剰余金	-3,115,031
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-3,115,031
負債・資本合計	3,640,180
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	462,183	268,437
資本勘定繰入	229,301	231,563
計	691,484	500,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	122.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名 静岡県	
市町村・組合名	共立蒲原総合病院組合(事業会計分)				
病院名	共立蒲原総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	21,651 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	21	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	175	64.5	62.5	61.8
療養	92	91.1	95.9	94.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	267	73.7	74.0	73.1
平均在院日数(一般病床のみ)		13.0	13.3	11.2

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,367,952			
1 経常収益	5,367,952			
(1) 医業収益	3,674,958			
(うち修正医業収益)	3,423,234			
入院収益	2,387,908			
外来収益	965,125			
診療収入計	3,353,033			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	321,925			
(うち他会計負担金)	251,724			
(2) 医業外収益	1,692,994			
(うち国・都道府県補助金)	62,264			
(うち他会計補助・負担金)	847,171			
(うち長期前受金戻入)	50,233			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,367,952			
2 経常費用	5,367,952			
(1) 医業費用	4,117,835			
職員給与費	2,674,724	72.8	58.7	63.9
材料費	500,431	13.6	26.9	21.1
(うち薬品費)	209,320	5.7	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	291,111	7.9	11.7	10.2
減価償却費	299,315	8.1	8.5	9.3
経費	631,515	17.2	21.5	28.2
(うち委託料)	347,122	9.4	11.5	14.0
研究研修費	7,684			
資産減耗費	4,166			
(2) 医業外費用	1,250,117			
(うち支払利息)	15,709	0.4	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		96.5	93.2
医業収支比率	89.2		86.0	81.2
修正医業収支比率	83.1		83.2	77.9
他会計繰入金対経常収益比率	20.5		11.5	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	29.9		13.7	16.1
他会計繰入金対総収益比率	20.5		11.5	13.3
実質収益対経常費用比率	79.5		85.4	80.9

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	5,652,592
1 固定資産	4,059,713
(1) 有形固定資産	3,938,809
(2) 無形固定資産	43,595
(3) 投資その他の資産	77,309
2 流動資産	1,592,879
(1) 現金及び預金	451,359
(2) 未収金及び未収収益	1,096,282
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	28,432
3 繰延資産	-
負債合計	1,667,747
1 固定負債	617,349
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	617,349
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	692,577
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	274,447
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	207,324
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	180,496
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	357,821
(1) 長期前受金	1,536,933
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,179,112
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	3,984,845
1 資本金	3,866,316
2 剰余金	118,529
(1) 資本剰余金	35,529
(2) 利益剰余金	83,000
負債・資本合計	5,652,592
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	649,723	1,098,895
資本勘定繰入	164,722	-
計	814,445	1,098,895

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	榛原総合病院組合(事業会計分)				
病院名	榛原総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	37,565 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	27	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	355	59.7	52.7	50.0
療養	42	98.2	97.1	98.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	397	63.8	50.6	48.6
平均在院日数(一般病床のみ)		14.0	15.0	14.8

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	999,632			
1 経常収益	999,632			
(1) 医業収益	179,890			
(うち修正医業収益)	20,854			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	179,890			
(うち他会計負担金)	159,036			
(2) 医業外収益	819,742			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	645,960			
(うち長期前受金戻入)	30,235			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,022,154			
2 経常費用	1,022,154			
(1) 医業費用	802,100			
職員給与費	26,418	14.7	58.7	59.2
材料費	-	-	26.9	26.1
(うち薬品費)	-	-	14.8	14.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	11.1
減価償却費	263,420	146.4	8.5	8.5
経費	506,760	281.7	21.5	21.3
(うち委託料)	58,456	32.5	11.5	11.7
研究研修費	282			
資産減耗費	5,220			
(2) 医業外費用	220,054			
(うち支払利息)	121,475	67.5	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-22,522			
純損失	-22,522			
累積欠損金	14,028,081			
経常収支比率	97.8		96.5	95.9
医業収支比率	22.4		86.0	86.4
修正医業収支比率	2.6		83.2	83.7
他会計繰入金対経常収益比率	80.5		11.5	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	447.5		13.7	11.5
他会計繰入金対総収益比率	80.5		11.5	9.8
実質収益対経常費用比率	19.0		85.4	86.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	6,963,271
1 固定資産	6,645,527
(1) 有形固定資産	6,535,096
(2) 無形固定資産	4,893
(3) 投資その他の資産	105,538
2 流動資産	317,744
(1) 現金及び預金	300,170
(2) 未収金及び未収収益	14,574
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	6,444,289
1 固定負債	5,219,061
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,818,943
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	400,118
2 流動負債	650,672
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	584,399
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,142
(6) リース債務	30,161
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	30,970
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	574,556
(1) 長期前受金	2,300,056
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,725,500
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	518,982
1 本金	14,506,988
2 剰余金	-13,988,006
(1) 資本剰余金	40,075
(2) 利益剰余金	-14,028,081
負債・資本合計	6,963,271
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	338,446	804,996
資本勘定繰入	375,004	375,004
計	713,450	1,180,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	7798.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和5年度)</b>		都道府県名 静岡県	
市町村・組合名	一部事務組合下田メディカルセンター(事業会計分)		
病院名	下田メディカルセンター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	8,632 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	15	指定病院の状況	救 感 輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	134	55.6	58.1	66.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	7.9	19.9	9.2
計	138	54.2	57.0	64.6
平均在院日数(一般病床のみ)		16.9	17.3	11.7

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	524,412			
1 経常収益	378,455			
(1) 医業収益	69,534			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	69,534			
(うち他会計負担金)	69,534			
(2) 医業外収益	308,921			
(うち国・都道府県補助金)	1,936			
(うち他会計補助・負担金)	181,846			
(うち長期前受金戻入)	23,402			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	145,957			
(うち他会計繰入金)	32,082			
総費用	588,248			
2 経常費用	388,492			
(1) 医業費用	345,178			
職員給与費	19,067	27.4	58.7	67.7
材料費	-	-	26.9	18.3
(うち薬品費)	-	-	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	9.1
減価償却費	195,886	281.7	8.5	10.3
経費	121,566	174.8	21.5	29.4
(うち委託料)	108,839	156.5	11.5	13.6
研究研修費	-			
資産減耗費	8,659			
(2) 医業外費用	43,314			
(うち支払利息)	34,545	49.7	0.9	1.1
(3) 特別損失	199,756			
経常損益	-10,037			
純損益	-63,836			
累積欠損金	-			
経常収支比率	97.4		96.5	95.4
医業収支比率	20.1		86.0	79.1
修正医業収支比率	-		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	66.4		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	361.5		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	54.1		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	32.7		85.4	79.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	5,310,202
1 固定資産	4,541,035
(1) 有形固定資産	4,478,432
(2) 無形固定資産	2,948
(3) 投資その他の資産	59,655
2 流動資産	769,167
(1) 現金及び預金	641,033
(2) 未収金及び未収収益	128,114
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	2,389,195
1 固定負債	2,062,857
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,062,857
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	277,912
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	165,906
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,376
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	109,496
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	48,426
(1) 長期前受金	106,333
(2) 長期前受金収益化累計額( )	57,907
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	2,921,007
1 資本金	1,140,462
2 剰余金	1,780,545
(1) 資本剰余金	1,664,628
(2) 利益剰余金	115,917
負債・資本合計	5,310,202
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	159,455	283,462
資本勘定繰入	108,582	53,485
計	268,037	336,947

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	掛川市・袋井市病院企業団				
病院名	掛川市・袋井市病院企業団立中東遠総合医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	44,529 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	32	指定病院の状況	救臨が感災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	496	78.1	77.6	75.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	48.1	59.9	46.3
計	500	77.9	77.4	75.4
平均在院日数(一般病床のみ)		9.2	9.5	9.2

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	18,855,630			
1 経常収益	18,843,797			
(1) 医業収益	17,036,121			
(うち修正医業収益)	16,654,687			
入院収益	10,856,358			
外来収益	5,056,498			
診療収入計	15,912,856			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	1,123,265			
(うち他会計負担金)	381,434			
(2) 医業外収益	1,807,676			
(うち国・都道府県補助金)	259,375			
(うち他会計補助・負担金)	676,365			
(うち長期前受金戻入)	440,115			
(うち資本費繰入収益)	220,880			
(3) 特別利益	11,833			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	19,160,877			
2 経常費用	19,148,220			
(1) 医業費用	18,179,355			
職員給与費	9,651,410	56.7	58.7	51.4
材料費	4,351,291	25.5	26.9	32.6
(うち薬品費)	2,098,601	12.3	14.8	18.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,247,069	13.2	11.7	13.9
減価償却費	1,213,057	7.1	8.5	7.4
経費	2,858,742	16.8	21.5	16.9
(うち委託料)	1,508,277	8.9	11.5	10.0
研究研修費	81,808			
資産減耗費	23,047			
(2) 医業外費用	968,865			
(うち支払利息)	198,319	1.2	0.9	0.8
(3) 特別損失	12,657			
損益	-304,423			
純損益	-305,247			
累積欠損金	-			
経常収支比率	98.4		96.5	97.6
医業収支比率	93.7		86.0	91.7
修正医業収支比率	91.6		83.2	89.8
他会計繰入金対経常収益比率	5.6		11.5	7.2
他会計繰入金対医業収益比率	6.2		13.7	8.1
他会計繰入金対総収益比率	5.6		11.5	7.2
実質収益対経常費用比率	92.9		85.4	90.5

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	25,598,364
1 固定資産	14,292,065
(1) 有形固定資産	12,111,603
(2) 無形固定資産	232,301
(3) 投資その他の資産	1,948,161
2 流動資産	11,306,299
(1) 現金及び預金	8,429,788
(2) 未収金及び未収収益	2,560,711
(3) 貸倒引当金( )	9,418
(4) 貯蔵品	277,695
3 繰延資産	-
負債合計	19,428,864
1 固定負債	15,361,606
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,393,201
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,968,405
(6) リース債務	-
2 流動負債	2,953,769
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,034,189
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	553,777
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,365,603
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,113,489
(1) 長期前受金	5,824,979
(2) 長期前受金収益化累計額( )	4,711,490
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	6,169,500
1 本金	1,302,074
2 剰余金	4,867,426
(1) 資本剰余金	171,244
(2) 利益剰余金	4,696,182
負債・資本合計	25,598,364
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	903,958	1,057,799
資本勘定繰入	668,311	668,311
計	1,572,269	1,726,110

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。